

民間支援まちづくりファンド 活動紹介

事業名

サンタ×サンタ×サンタ
～サンタがおまちにやってきた！！～

団体概要

- 申請者名 子育て応援サークルいちご 【活動PR <https://www.facebook.com/numazusanta>】
- 代表者 藤井 さやか
- 活動場所 市内各商店街（大手町、仲見世、新仲見世）



1. 活動の目的

1. 中心市街地（市内各商店街）への子育て世代の来訪
2. 中心市街地の賑わい創出と活性化
3. 商店街の魅力発信
4. 市内外の人々と各商店とのふれあいと交流促進の場づくり

2. 活動を始めた経緯

【代表藤井さんより】平成26年から始めた「ぬまづぱんまるしえ」をきっかけに関係性を築けた商店街の方々と、次のにぎわいづくりを考えるうちに、今度は子育て世代をターゲットにしたイベントを開催することを思い立ちました。たくさんのイベントが候補に挙がりましたが、その中で沼津の商店街が毎年クリスマスのイルミネーションに力を入れているにも関わらず、その魅力を十分にPR出来ていないことにもったいなさを感じ、クリスマスに開催できるイベントを計画しました。普段商店街に足を運び機会の少ない子育て世代を、市内外から集客し、多くの世代に楽しんでもらいたいとの思いから、地元企業の協力もいただきながら開催に至りました。



4. この活動を通じてつながることができた方々

- ◎沼津信用金庫
活動に賛同いただく企業様の中でも、特別協賛企業として開催に必要な資金協力をいただきました。事業開始以来、昨年度のワークショップ形式の際にもご支援をいただいています。
- ◎その他ブース出展/広告協賛/物品提供（お菓子・クーポン券等）をいただいた市内各企業
子育て世代への社会貢献のPRとして、ブースの出展や広告協賛、その他子どもたちに配るプレゼントをご用意いただきました。
- ◎市内各専門学校（沼津情報・ビジネス専門学校/大原公務員医療観光専門学校）
イベント時の学生のボランティアスタッフの派遣に、多数のご協力をいただきました。
- ◎街中だがりや楽校inぬまづ実行委員会
中心市街地活性化のため、だがりや学校の企画運営を行う団体
※だがりや学校…子ども達がお仕事体験により得た仮想通貨「ぬまづダラ」でマーケットで買い物することで、商品の価値や働くことの意義を学ぶ事業
商店街活性化で連携し、相互のイベント開催に向けて協力関係を構築しました。

3. 活動内容

1. ～助成時の活動について～【平成28/29/30年度：ステップ‘アップ’型】



- ・初年度の来場者約2000人から始まり、コロナ前までは5000人を超える規模の来場がありました。
- ・地域の団体、行政、企業、学生、ボランティアなど多くの関係者を巻き込むことができました。

2. ～助成から現在までの活動について～（令和3年12月現在）

- ◎コロナ禍前の2019年は他の助成金や企業の協賛を活用し、大勢の方にお越しいただき、実施することができました。
- ◎コロナ禍の昨年と今年については、集客方法、イベントの運営体制をこの機会に見直し、地域の方々と連携しながら、各商店街（大手町、仲見世、新仲見世）ごとにワークショップ形式で、規模を縮小して実施しています。



5. この活動を通じた効果や成果について

- ◎これまで商店街を訪れたことのないような親子がたくさん来てくれたことで、まちを楽しんでくれました。また来訪された方が、近くのお店で買い物や食事をするなど、沼津での消費活動において大きな効果がありました。
- ◎各所からの注目度も高く、開催前からSNS、新聞、ラジオ等でも沼津で注目されるイベントとして発信していただき、また、イベントに参加した多くの親子がその様子をSNS等で発信しており、商店街の魅力が多くの方に伝わったことで、イベント後も親子で商店街を訪れるきっかけにつながっています。
- ◎商店街との人たちとの関係も以前に比べ深くなり、たくさんコミュニケーションをとることができたことで、お互いの顔も覚え、活動への応援もしてもらいました。

6. 今後の活動について

- ◎助成や企業協賛も目途が立ち、資金的にはうまく回るところまでもってこれましたが、主催する側としては、ボランティア事業になりがちになってしまうと感じました。また、現在の任意団体ベースで何千人もの方を呼びイベントを開催するには、エネルギーと労力が必要で、以前の形態での継続は難しいと感じます。
- ◎現在コロナ禍でのイベント開催については色々見直しをしているところですが、本事業についても、大きいイベントを1回やるのではなく、小規模なワークショップに切り替え、例えば【週末の沼津】へのブース出展等で継続実施していくことを考えています。